

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2008-517045(P2008-517045A)

【公表日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2007-537367(P2007-537367)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月14日(2008.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

クラスIIIのSLRPの活性を促進する作用物質を含む、癌の予防及び/又は治療のための医薬組成物。

【請求項 2】

癌が腫瘍である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

腫瘍が無血管性腫瘍である、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

癌が、線維肉腫、乳癌、肺癌、神経膠腫、膵臓癌、膀胱癌及び大腸癌からなる群より選択される、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

作用物質がクラスIIIのSLRPである、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

作用物質が以下の(a)～(f)を含む群より選択される、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物：

(a) オプチシン；

(b) エピフィカン；

(c) オステオグリシンとしても知られる、ミメカン；

(d) 前記(a)～(c)のいずれかのエレメントを含むキメラ分子；

(e) 前記(a)～(d)のいずれかの改変型；及び

(f) 前記(a)～(e)のいずれかの生物学的に活性な断片若しくは誘導体。

【請求項 7】

生物学的に活性な断片が、N末端断片及びロイシンリッチリピート断片からなる群より選択される、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

誘導体が増加したin vivoでの半減期を有する、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

誘導体が、ペプチド誘導体及びD-アミノ酸誘導体からなる群より選択される、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

誘導体がペプチド-ペプチド混成誘導体である、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

作用物質が以下の(a)～(f)を含む群より選択される分子をコードするベクターである、請求項 1～4のいずれか 1 項に記載の医薬組成物：

- (a) オプチシン；
- (b) エピフィカン；
- (c) オステオグリシンとしても知られる、ミメカン；
- (d) 前記(a)～(c)のいずれかのエレメントを含むキメラ分子；
- (e) 前記(a)～(d)のいずれかの改変型；及び
- (f) 前記(a)～(e)のいずれかの生物学的に活性な断片若しくは誘導体。

【請求項 12】

生物学的に活性な断片若しくは誘導体が請求項7～10のいずれか 1 項に規定される生物学的に活性な断片若しくは誘導体である、請求項11に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

ベクターがオプチシンをコードするアデノウイルスベクターである、請求項 11に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

クラスIIIのSLRPの活性を促進する作用物質を含む、癌細胞のアポトーシスを促進するための医薬組成物。

【請求項 15】

作用物質が請求項7～10のいずれか 1 項に規定される作用物質である、請求項 13に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

クラスIIIのSLRPの活性を促進する作用物質の、癌の予防及び/又は治療のための医薬品の製造における使用。